上位頚椎損傷の患者さんへ

当院では、より良い治療を行うための

調査を実施しています。

上位頚椎損傷を予防するために、その臨床的特徴を調査しています。

高齢者の方では、軽微な転倒等で頚椎を骨折することがあります。また頚椎のなか
でも、青壮年の方が交通事故等で損傷されることが多い中下位頚椎ではなく、上位頚
椎の骨折が多くなります。今回、青壮年と高齢者の方の上位頚椎損傷を比較検討する
ことにより臨床的な特徴を検討し、最終的には高齢者の頚椎損傷の発生を低くしてい
きたいと思います。

これまでの診療記録を集計しますので、新たな質問や検査の必要はありません。

この調査では、担当者が対象となる方のカルテ（診療記録）を行い、受傷時の状況
や麻痺の程度、骨折の型、頚椎の加齢変化の程度を検討させていただきます。

調査の対象は、一部の方です。

1990年から2009年のあいだに、当院で上位頚椎損傷の入院加療をうけられ
た患者さんのうちの一部のかたを対象としています。

お名前や個人情報が必要なことは、一切ありません。

必要な情報のみを統計資料として集計しますので、当院外にお名前や個人情報がで
ることはありません。

ご不明な点がありましたら、下記当院担当科までお問い合わせください。

この調査にご自分の診療記録を使ってほしくない方は、お申し出ください。

この調査へのご自分診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは
全くありません。

たとえそれが調査期間中であっても、いつでもお断りいただけます。
その場合は、当院整形外科科担当医にお申し出ください。
(整形外科 渡辺 雅彦 2320)

ー東海大学医学部付属病院ー